



2016年7月22日

株式会社マツモトキヨシホールディングス

PRESS RELEASE



サプライチェーンイノベーション大賞  
Supply chain Innovation Award  
**2016**

## マツモトキヨシホールディングスが製・配・販連携協議会より 「サプライチェーン イノベーション大賞2016優秀賞」を受賞

株式会社マツモトキヨシホールディングスは、7月15日に開催された「製・配・販連携協議会」の総会／フォーラムにおいて、本年度から新たに導入された表彰制度「サプライチェーン イノベーション大賞2016」において「優秀賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

製・配・販連携協議会とは、2011年5月、経済産業省の支援のもと、一般財団法人流通システム開発センターおよび公益財団法人流通経済研究所が共同して事務局を務め、消費財分野を取り扱う製（メーカー）・配（卸売業）・販（小売業）の連携により、サプライチェーン・マネジメントの抜本的なイノベーション・改善を図り、もって産業競争力を高め、豊かな国民生活への貢献を目指すことを目的として設立された協議会です。

このたびの、「サプライチェーン イノベーション大賞2016」は、サプライチェーン全体の最適化に向け、製・配・販各層の協力のもと、優れた取り組みを行い、業界をけん引した企業に対して、その功績を表彰するもので、弊社の「返品削減への取り組み」「配送最適化の取り組み」等により、製・配・販の各社とともにお客様も含めたWIN-WINの関係構築が選考委員の皆さまから高い評価をいただき「優秀賞」を受賞することとなりました。

今後も弊社は、中期的な戦略テーマのひとつとして掲げる「オムニチャネルを起点としたCRMのさらなる進化」のもと、その重点戦略である「サプライチェーン全体の最適化」に取り組んでまいります。